

報道各位

25%削減目標の維持を

6月5日付の報道で、2020年に温室効果ガスの排出量を1990年比で25%削減する目標を盛り込んだ地球温暖化対策基本法案について、民主党の小沢鋭仁前環境大臣らがこの目標を削除した「修正試案」をまとめ、法案撤回を求めている自民党に示していたことが明らかになった、と報じられています（共同通信 6月5日）。

そして、その理由は、原子力発電所の停止などの東日本大震災にあるとしています。

今回の震災と原子力事故によって被害が拡大しており、原発事故の一刻も早い収束と、被災地の復活・復興のために最善を尽くさなくてはなりません。

しかし、その傍らで、地球温暖化の中期目標を切り捨てようとするのは、深刻化する気候変動へ対応することを日本が放棄しようとするのと等しく、大きな問題です。

むしろこのような状況だからこそ、しっかりと中期目標を掲げ、気候変動に取り組む意思を明確にし、原発にたよらない安全で安心な低炭素社会を築いていかなければなりません。

私たちはキャンペーンを進める中で、政策的・技術的な検証を重ねてきましたが、今考える政策・技術を総動員すればそれが可能だと考えます。

25%削減目標は、気候変動問題に立ち向かうために民主党が公約に掲げ、MAKE the RULE キャンペーン実行委員会としてそれを後押ししてきた、大変重要なものです。その目標を掲げた地球温暖化対策基本法案を、しっかりとした内容で実現させることは、キャンペーンに参加する200の団体、署名をした38万人の人々の思いです。

これからエネルギー政策の見直しが始まろうとするときに、きちんと議論もなく、正当な根拠もないまま、先だって25%目標を取り下げてしまおうとするのは、許されることではありません。MAKE the RULE キャンペーン実行委員会として、そのような動きに、強く抗議します。

先日、菅直人首相は、この25%削減目標を維持し、省エネルギーと再生可能エネルギーとで、震災復興と温暖化対策を両立させていくことはできるという考えを示しました。

MAKE the RULE キャンペーン実行委員会は、菅首相の発言の通りに、25%削減を維持し、その目標と削減のための3施策を位置づけた法案を今国会で実現させることを、要請します。

<主催・お問合せ>

MAKE the RULE キャンペーン 実行委員会 事務局

〒102-0083 東京都千代田区麹町 2-7-3 半蔵門ウッドフィールド 2F

TEL:03-3263-9210 FAX:03-3263-9463 E-mail:jimjim@maketherule.jp www.maketherule.jp